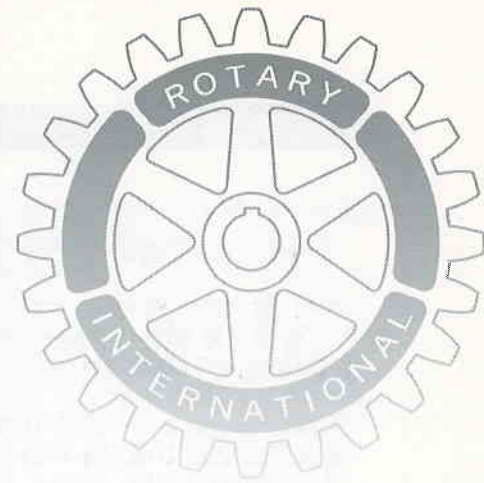


# 歴 代 役 員

代 数	年 数	会 長	副 会 長	幹 事
初 代	1962~63	天 野 弘 之	小 沢 栄三郎	加 藤 福 松
二 代	1963~64	天 野 弘 之	小 沢 栄三郎	加 藤 福 松
三 代	1964~65	小 沢 栄三郎	直 居 重 雄	八 亀 昌 美
四 代	1965~66	直 居 重 雄	榎 原 正 愛	杉 山 味 淳 芳
五 代	1966~67	榎 原 正 愛	八 亀 沢 安 蔵	五 稲 葉 信 隆
六 代	1967~68	八 亀 沢 安 蔵	相 沢 藤 福 松	三 八 輪 龜 宣 民 照
七 代	1968~69	高 橋 柳 吉 爾	加 藤 間 茂 夫	三 八 輪 龜 田 真 武 蔵
八 代	1969~70	高 橋 柳 吉 爾	加 藤 間 茂 夫	三 八 輪 龜 田 真 武 蔵
九 代	1970~71	加 藤 福 昌 美	大 久 保 葉 隆	八 浅 林 岩 井 德 太 郎
十 代	1971~72	加 藤 福 昌 美	大 久 保 葉 隆	八 浅 林 岩 井 德 太 郎
十 一 代	1972~73	杉 山 田 真 章	五 十 嵐 寅 康 治	林 岩 井 德 太 郎
十 二 代	1973~74	浅 田 真 章	丹 羽 原 川 修 助	石 西 山 山 宮 晃 寛 一 治
十 三 代	1974~75	林 葉 隆 清	菅 原 川 井 德 太 郎	石 西 山 山 宮 晃 寛 一 治
十 四 代	1975~76	稻 葉 隆 清	及 岩 井 德 太 郎	西 春 近 高 知 尾 朝 邦 彦
十 五 代	1976~77	西 山 井 德 太 郎	岩 平 間 茂 夫	春 近 高 知 尾 朝 邦 彦
十 六 代	1977~78	岩 井 德 太 郎	平 間 茂 夫	近 高 知 尾 朝 邦 彦
十 七 代	1978~79	平 間 茂 夫	吉 田 充 甫 助	高 知 尾 朝 邦 彦
十 八 代	1979~80	吉 田 充 甫 助	大 久 保 川 修 助	伊 西 高 岩 橋 立 信 一 善 至 英 清 成 隆 之 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦
十 九 代	1980~81	大 久 保 川 修 助	及 黒 須 伏 山 藤 川 宮 本 藤 立 野 村 竹 貞 夫 至 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦	伊 西 高 岩 橋 立 信 一 善 至 英 清 成 隆 之 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦
二 十 代	1981~82	及 川 修 助	黒 室 伏 山 藤 川 宮 本 藤 立 野 村 竹 貞 夫 至 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦	伊 西 高 岩 橋 立 信 一 善 至 英 清 成 隆 之 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦
二 十 一 代	1982~83	黒 須 正 光 雄 一	室 伏 山 藤 川 宮 本 藤 立 野 村 竹 貞 夫 至 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦	伊 西 高 岩 橋 立 信 一 善 至 英 清 成 隆 之 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦
二 十 二 代	1983~84	黒 須 正 光 雄 一	室 伏 山 藤 川 宮 本 藤 立 野 村 竹 貞 夫 至 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦	伊 西 高 岩 橋 立 信 一 善 至 英 清 成 隆 之 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦
二 十 三 代	1984~85	西 山 藤 川 雅 寛 治 吉 彦 清 行 成 之 至 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦	近 藤 川 宮 本 藤 立 野 村 竹 貞 夫 至 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦	伊 西 高 岩 橋 立 信 一 善 至 英 清 成 隆 之 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦
二 十 四 代	1985~86	近 藤 川 雅 寛 治 吉 彦 清 行 成 之 至 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦	石 川 宮 本 藤 立 野 村 竹 貞 夫 至 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦	伊 西 高 岩 橋 立 信 一 善 至 英 清 成 隆 之 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦
二 十 五 代	1986~87	石 川 宮 本 善 邦 彦 清 行 成 之 至 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦	春 空 伊 岩 熊 木 山 鈴 八 室 杉 向 湯 日 比 谷 光 葉	天 府 小 浅 伊 八 室 杉 土 肥 野 昇 田 盤 東 間 山
二 十 六 代	1987~88	春 空 伊 岩 熊 木 山 鈴 八 室 杉 向 湯 日 比 谷 光 葉	伊 岩 熊 木 山 鈴 八 室 杉 向 湯 日 比 谷 光 葉	天 府 小 浅 伊 八 室 杉 土 肥 野 昇 田 盤 東 間 山
二 十 七 代	1988~89	伊 藤 川 朝 雄 伸 之 至 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦	伊 岩 熊 木 山 鈴 八 室 杉 向 湯 日 比 谷 光 葉	天 府 小 浅 伊 八 室 杉 土 肥 野 昇 田 盤 東 間 山
二 十 八 代	1989~90	伊 藤 川 朝 雄 伸 之 至 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦	伊 岩 熊 木 山 鈴 八 室 杉 向 湯 日 比 谷 光 葉	天 府 小 浅 伊 八 室 杉 土 肥 野 昇 田 盤 東 間 山
二 十 九 代	1990~91	伊 藤 川 朝 雄 伸 之 至 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦	伊 岩 熊 木 山 鈴 八 室 杉 向 湯 日 比 谷 光 葉	天 府 小 浅 伊 八 室 杉 土 肥 野 昇 田 盤 東 間 山
三 十 代	1991~92	高 知 尾 朝 雄 伸 之 至 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦	伊 岩 熊 木 山 鈴 八 室 杉 向 湯 日 比 谷 光 葉	天 府 小 浅 伊 八 室 杉 土 肥 野 昇 田 盤 東 間 山
三 十 一 代	1992~93	小 松 藤 伸 之 至 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦	伊 岩 熊 木 山 鈴 八 室 杉 向 湯 日 比 谷 光 葉	天 府 小 浅 伊 八 室 杉 土 肥 野 昇 田 盤 東 間 山
三 十 二 代	1993~94	小 松 藤 伸 之 至 臣 雄 久 修 廣 幸 丈 司 芳 介 弘 敦	伊 岩 熊 木 山 鈴 八 室 杉 向 湯 日 比 谷 光 葉	天 府 小 浅 伊 八 室 杉 土 肥 野 昇 田 盤 東 間 山
三 十 三 代	1994~95	伊 藤 木 義 安 雄 隆 丈 久 司 志	伊 岩 熊 木 山 鈴 八 室 杉 向 湯 日 比 谷 光 葉	天 府 小 浅 伊 八 室 杉 土 肥 野 昇 田 盤 東 間 山
三 十 四 代	1995~96	伊 藤 木 義 安 雄 隆 丈 久 司 志	伊 岩 熊 木 山 鈴 八 室 杉 向 湯 日 比 谷 光 葉	天 府 小 浅 伊 八 室 杉 土 肥 野 昇 田 盤 東 間 山
三 十 五 代	1996~97	八 室 伏 安 真 善 茂 政 和 志	伊 岩 熊 木 山 鈴 八 室 杉 向 湯 日 比 谷 光 葉	天 府 小 浅 伊 八 室 杉 土 肥 野 昇 田 盤 東 間 山
三 十 六 代	1997~98	浅 田 真 善 茂 政 和 志	伊 岩 熊 木 山 鈴 八 室 杉 向 湯 日 比 谷 光 葉	天 府 小 浅 伊 八 室 杉 土 肥 野 昇 田 盤 東 間 山
三 十 七 代	1998~99	林 山 真 善 茂 政 和 志	伊 岩 熊 木 山 鈴 八 室 杉 向 湯 日 比 谷 光 葉	天 府 小 浅 伊 八 室 杉 土 肥 野 昇 田 盤 東 間 山
三 十 八 代	1999~2000	杉 山 真 善 茂 政 和 志	伊 岩 熊 木 山 鈴 八 室 杉 向 湯 日 比 谷 光 葉	天 府 小 浅 伊 八 室 杉 土 肥 野 昇 田 盤 東 間 山
三 十 九 代	2000~2001	飛 田 政 和 志	伊 岩 熊 木 山 鈴 八 室 杉 向 湯 日 比 谷 光 葉	天 府 小 浅 伊 八 室 杉 土 肥 野 昇 田 盤 東 間 山
四 十 代	2001~2002	日 比 谷 政 和 志	伊 岩 熊 木 山 鈴 八 室 杉 向 湯 日 比 谷 光 葉	天 府 小 浅 伊 八 室 杉 土 肥 野 昇 田 盤 東 間 山



## 出席優秀クラブ

湯河原クラブは創立以来、出席優秀クラブとしての伝統を  
持ち続けています。その為幾多の表彰を受けました。



1964～1965年度	98.47%	10位	1984～1985年度	100 %	1位
1966～1967年度	99.41%	8位	1985～1986年度	100 %	1位
1968～1969年度	99.82%	3位	1986～1987年度	100 %	1位
1970～1971年度	99.88%	3位	1987～1988年度	100 %	1位
1971～1972年度	99.71%	3位	1988～1989年度	100 %	1位
1972～1973年度	99.30%	6位	1989～1990年度	99.77%	
1973～1974年度	99.87%	3位	1990～1991年度	100 %	1位
1974～1975年度	99.56%	10位	1991～1992年度	100 %	1位
1975～1976年度	99.86%	8位	1992～1993年度	100 %	1位
1976～1977年度	99.65%	1位	1993～1994年度	100 %	1位
1977～1978年度	100 %	1位	1994～1995年度	100 %	1位
1978～1979年度	100 %	1位	1995～1996年度	100 %	1位
1979～1980年度	100 %	1位	1996～1997年度	99.57%	
1980～1981年度	100 %	1位	1997～1998年度	99.57%	
1981～1982年度	100 %	1位	1998～1999年度	99.34%	3位
1982～1983年度	100 %	1位	1999～2000年度	97.64%	4位
1983～1984年度	100 %	1位	2000～2001年度	97.23%	

## 社会奉仕 『意義ある業績賞』・受賞

湯河原 R. C  
 [受賞対象事業] 『記念植樹』 湯河原町城山  
 記念植樹と下草刈り

1972年 4月クラブ創立10周年記念事業として城山に山紅葉の植樹を行い、苗木 3,655本を湯河原の農協青年部の協力を得て、クラブ全員参加で行った。その後毎年夏、山紅葉の下草刈りを会員全員参加で今回24回にあたる。現在2~3mに山紅葉は成長し、地域の環境保全に寄与している。

[選定理由]

- 1) クラブ主催事業である。
- 2) クラブ会員が全員参加している。
- 3) 24年間継続して行っている。

[選考委員長] パストガバナー 生 沼 富 治

[表彰]

国際ロータリー第2780地区ガバナー 真崎 勇  
 国際ロータリー会長 ハーバート G ブラウン

意義ある  
 業績  
 賞

湯河原  
 ロータリー・クラブの  
 優れた奉仕活動をたたえ  
 国際ロータリーが  
 ここに  
 これを賞するものである

真崎 勇 *Harbert G. Brown*  
地区ガバナー R. I. 会長

まさしく意義ある業績に値する賞であり、創立35周年を迎え湯河原 R. C が誇れる社会奉仕活動事業である。



昭和48年4月8日~9日の両日湯河原農協青年部のご協力を得て山紅葉の苗木植樹作業が行われた。右端より左手に苗木、右手に鍬をもち一本一本植樹して行く吉光・杉山会員 榎本・加藤・熊野会員は作業を見ている。3,655本を植樹した。

その後の苗木の勝着率は極めて良好、すくすくと育つ。次の年より、山紅葉の周り下草刈りと、配合肥料の施肥を毎年お行っている。

おなじみの10周年記念植樹記念碑の建設は、僅か10日間の短期間の内に、井戸倉建設とランケイ社のご協力により立派な記念碑が建設された。



昭和54年8月19日 夏の日盛の下草刈りは、苦しいが、炎熱をさえぎる、やさしい山紅葉の木陰が、汗し流れる憩いの場として、会員を呼んでいる、年毎の苦難の炎熱灼くが如き、作業の積み重ねが、やがて湯河原の紅葉の名所となり、観光客が訪れるであろう事を念じて、本年も下草を刈る、ご褒美のヘルメットを被って、記念碑前で



\*常に率先して超私の汗の奉仕を  
 実践示された 故 近藤 保 会員



『山紅葉の育成と下草刈り作業』  
 本活動事業は過去の記念誌に掲載されましたが、昨年度R. I 意義ある業績賞を、受賞改めて先輩会員の、ご努力を讃えたく山紅葉の植樹の頃より活動作業を載せて、今は亡き共に奉仕活動に汗を流した、近藤 保君 君、杉山 実君 及川修助君 君、林 武蔵君 直居重雄君 君、榎本 清君 浅田真章君 君、八亀広蔵君 天野邦英君 君、平間茂夫君 丹羽康之君 君に捧げます。

写真右上部分、大きく育った山紅葉の樹林、この場所では中程度に育っている。休憩所右側道上の左側の山の紅葉は大きく育ち3m以上の樹で樹林を作る。



汗を流した後の山での天野屋さん特製のお弁当のおいしい事、及川君の大釜でゆでたトウモロコシをほうばる、パストガバナー 鱸正太郎さんが陣中見舞いに カマは持たなかつたが 楽しく食事には参加、トウモロコシを食べながらの右から林さん、鱸ガバナー、加藤さん、奥に岩井、吉光先生。



この年、雨の中での下草刈り作業でしたが、汗をかいた作業の後の充実感か、全会員 笑顔

